



はじめに

教育本部長 浅石敦幸

また今年も気持ちの昂ぶる季節がやってまいりました。皆様におかれましても、一日も早く雪の上に立つ日を心待ちにしていることと推測いたしております。

さて、今年の夏の話は何といっても金足農業高校の甲子園での大活躍でありましょう。

103年ぶりの決勝進出…そして優勝への期待と最後まで諦めない雑草軍団の戦いはわれわれ秋田県民はもとより、全国の野球ファンに感動と興奮を届けてもらいました。

しかしながら、あの決勝まで行き着く裏では並々ならぬ努力と研鑽の日々があったことを私たちは知っております。

ローマは一日にして成らず…日々の努力こそが最後の最後で実を結ぶものであります。

我々スキーヤーも同じではないでしょうか。

昔取った杵柄で今もうまく滑れるとは限りませんし、今まで以上の滑りを体現することは並大抵のことではありません。

やはり、時間を見つけては雪上に立ち繰り返し繰り返しトレーニングを積んでこそ上手くなるのであります。そしてこれは既に皆様が今までやってこられたことでもあります。

加えて、スキーの理論も用具も日々進化しております。2年に一度の研修会にも出ずにスキー技術の云々を語ることは出来ないであろうと私は思います。

逆に言えば、研修会のような場所をうまく使うことで、自分のスキー技術とスキー理論を飛躍的に伸ばすことができるであろうと信じております。

世情厳しき折、研修会に参加する時間をとることが難しいことは承知しておりますが、どうかうまく計画を立てられ研修会に参加していただけますようお願いいたします。

他のスポーツ同様、少子高齢化の波に押されスキー人口も年々減少の一途を辿っておりますが、だからといってスキーをする人が減っているわけではありません。

毎年出るレジャー白書にも、やってみたいスポーツには必ずスキーが上位に入っております。潜在的な需要は大きいのであります。

その需要に応えるために、我々は、先人がそうして私たちに虜にしたように、ゲレンデを華麗に滑り見る者を魅了し、自分もあんな風にスキーを滑ってみたい！と思わせるようにしなければなりません。スノーマジックで取り込んでいただきたいと願ってやみません。

今年は、秋田県スキー連盟生誕90周年の節目に当たる年であります。

会員皆様のお力でスノースポーツを、秋田のスキーを再び活性化させ、金農野球部に負けないよう頑張ってもらいましょう。

今シーズンも仲間とともに楽しく、そして華麗に滑り舞い、スキーライフを満喫していただきたいと願っております。